

# 出生届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理 令和 年 月 日	発送 令和 年 月 日					
第 号						
送付 令和 年 月 日	長 印					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

(1) 生まれたとき	(よみかた) 子の氏名 <small>(外国人のときはローマ字を付記してください)</small>	氏	名	父母との 続き柄	<input type="checkbox"/> 嫡出子 <input type="checkbox"/> 嫡出でない子	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(2) 生まれたとき	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後	時 分			
(3) 生まれたところ				番地 番 号		
(4) 住 所 <small>(住民登録をするところ)</small>	世帯主 の氏名			世帯主と の続き柄		
(5) 父母の氏名 生年月日 <small>(子が生まれたときの年齢)</small>	父			母		
(6) 本 籍 <small>(外国人のときは国籍だけを書いてください)</small>	筆頭者 の氏名			番地 番 号		
(7) 同居を始めたとき		年 月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)			
(8) 子が生まれた ときの世帯の おもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯					
(9) 父母の職業	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)	父の職業		母の職業		
その他						
届 出 人	<input type="checkbox"/> 1. 父 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人( ) <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産師 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長					
住 所						
本 籍		番地 番 号	筆頭者 の氏名			
署 名 (※押印は任意)		印	年 月 日	生		
事件簿番号						

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かない  
てください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内  
に提出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、  
かたかな、ひらがなで書いてください。  
子が外国人のときは、原則かた  
かなで書くとともに、住民票の処理  
上必要ですから、ローマ字を付記し  
てください。

よみかたは、戸籍には記載されませ  
ん。住民票の処理上必要ですから書  
いてください。

□には、あてはまるものに☑のよう  
にするしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに  
記載されている人の氏名を書いてく  
ださい。

届け出られた事項は、人口動態調査  
(統計法に基づく基幹統計調査、厚生  
労働省所管)にも用いられます。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭  
者となっていない場合は、新しい戸  
籍がつくられますので、この欄に希  
望する本籍を書いてください。

◎届出人は、原則として子の父又は母です。  
届出人が署名した後、届書を持参する方  
は親族、その他の方でもさしつかえあり  
ません。

◎母子健康手帳をご持参下さい。

連絡先	
電話( )	番
自宅・勤務先・呼出	方

# 出生証明書

## 記入の注意

子の氏名		男女 の別	1男 2女
生まれたとき	令和 年 月 日	午前 午後	時 分
出生した ところ及び その種別	出生したところ の種別	1 病院 4 自宅	2 診療所 5 その他 3 助産所
	出生した ところ		番地 番 号
	(出生したところ の種別1~3) 施設の名称		
(11) 体重及び身長	体重 グラム	身長 センチメートル	
(12) 単胎・ 多胎の別	1 単胎	2 多胎 ( )	子中第 子)
(13) 母の氏名		妊娠 週数	満 週 日
(14) この母の出産 した子の数	出生子 (この出生子及び出生後 死亡した子を含む)		人
	死産児 (妊娠満22週以後)		胎
(15) 1 医師 2 助産師 3 その他	上記のとおり証明する。 令和 年 月 日 (住所)  (氏名)	番地 番 号	

夜の12時は「午前0時」、  
昼の12時は「午後0時」と  
書いてください。

体重及び身長  
は、立会者が医  
師又は助産師以  
外の者で、わか  
らなければ書か  
なくてもかまひ  
ません。

この母の出産  
した子の数は、  
当該母又は家人  
などから聞いて  
書いてください。

この出生証明  
書の作成者の順  
序は、この出生  
の立会者が例え  
ば医師・助産師  
ともに立ち会っ  
た場合には医師  
が書くように  
1、2、3の順  
序に従って書い  
てください。

※ 出生届の手続について、悩みや困りごとがあれば、お近くの市区町村又は法務局に  
ご相談ください。

出生届を届け出なければ、その子の戸籍がつくられず、不利益を被るおそれがあり  
ます。

詳しくは法務省のホームページをご覧ください。

Q 無戸籍 法務省

# 死亡届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日					
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印					
書類調査		戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票

(1) (よみかた)	氏 名	
(2) 氏 名	氏 名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(3) 生年月日	年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)	<input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input type="checkbox"/> 午後 時 分
(4) 死亡したとき	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input type="checkbox"/> 午後 時 分
(5) 死亡したところ	番地 番 号	
(6) 住 所	(住民登録をして) いるところ 世帯主の氏名	
(7) 本 籍	(外国人のときは) 国籍だけを書いてください 番地 番 筆頭者の氏名	
(8) 死亡した人の夫または妻	<input type="checkbox"/> いる (満 歳) <input type="checkbox"/> いない ( <input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)	
(9) 死亡したときの世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(10) 死亡した人の職業・産業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください) 職業 産業	
(11) その他	届 出 人 住所 本籍 署名 (※押印は任意) 印 年 月 日生	
事件簿番号		

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)にも用いられます。

# 死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名	1男 2女	生年月日	明治 昭和 平成 令和 年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)	午前・午後 時 分
死亡したとき	令和 年 月 日 午前・午後 時 分			
(12) 死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	1病院 2診療所 3介護医療院・介護老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他		
(13) 死亡したところ及びその種別	死亡したところ	番 地 号		
(14) 死亡の原因	(ア)直接死因	発病(発症) 又は受傷から死亡までの期間		
(14) 死亡の原因	(イ)(ア)の原因	◆年・月・日等の単位で書いてください。ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください。(例:1年3ヵ月、5時間20分)		
(14) 死亡の原因	(ウ)(イ)の原因			
(14) 死亡の原因	(エ)(ウ)の原因			
(14) 死亡の原因	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等			
(14) 死亡の原因	手術	1無 2有	部位及び主要所見	手術年月日 令和 平成 年 月 日 昭和
(14) 死亡の原因	解剖	1無 2有	主要所見	
(15) 死因の種類	1病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焔による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因死 12不詳の死			
(16) 外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和・平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分	傷害が発生したところ	都道府県 市区町村
(16) 外因死の追加事項	傷害が発生したところの種別	1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他 ( )		
(16) 外因死の追加事項	◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください 手段及び状況			
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	単胎・多胎の別	妊娠週数	
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	グラム	1単胎 2多胎 ( 子中第 子)	満 週	
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日 昭和 平成 令和 年 月 日	前回までの妊娠の結果 出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)	
(18) 死亡した原因	その他特に付言すべきことがら			
(19) 医師	上記のとおり診断(検案)する 診断(検案)年月日 令和 年 月 日 本診断書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日 番地 番 号 (氏名) 医師			

## 記入の注意

一生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「5老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に關係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういふ状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

# 婚姻届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日					
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

(1)	氏 名	夫 にな る 人	妻 にな る 人
	氏 名	氏 名	氏 名
(2)	住 所	夫	妻
	(住民登録をして いるところ)	世帯主 の氏名	世帯主 の氏名
(3)	本 籍	夫	妻
	(外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	番地 番	番地 番
(4)	父母及び養父母 の氏名 父母との続柄	父 母	父 母
	(右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	続柄 男	続柄 女
(5)	婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	父 母	父 母
	<input type="checkbox"/> 夫の氏 <input type="checkbox"/> 妻の氏	新本籍 (左の☐の氏の人 がすでに戸籍の筆頭者とな っているときは書かないで ください)	番地 番
(6)	同居を始めた とき	父 母	父 母
(7)	初婚・再婚の別	父 母	父 母
	同居を始める 前の夫妻のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	父 母	父 母
(8)	夫妻の職業	父 母	父 母
	夫の職業	妻の職業	
その他			
届出人署名 (※押印は任意)		夫 印	妻 印
事件簿番号		住定年月日 夫 年 月 日 妻 年 月 日	

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日も届けることができます。(この場合、宿直等で取扱うので、前日までに戸籍担当係で下調べをしておいて下さい。)

届書は、1通でさしつかえありません。

この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

証 人		
署 名 (※押印は任意)	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所		
本 籍	番地 番	番地 番

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

には、あてはまるものに☐のようにしるしをつけてください。

外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつけられますので、希望する本籍を書いてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。

内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

◎ 署名は必ず本人が自署して下さい

連絡先
電話( ) 番
自宅・勤務先・呼出 方

令和 年 月 日 午前・午後 時 分受領
<input type="checkbox"/> 免 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
<input type="checkbox"/> 免 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
<input type="checkbox"/> 免 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
<input type="checkbox"/> 免 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
通知 年 月 日
確 認 通 知

# 離婚届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日					
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

(よみかた)	夫	妻				
(1) 氏 名	氏 名	氏 名				
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日				
住 所 (住民登録をして いるところ)	世帯主 の氏名	世帯主 の氏名				
(2) 本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	筆頭者 の氏名	番地 番				
父母及び養父母 の 氏 名	夫の父 母	続 き 柄 男	妻の父 母	続 き 柄 女		
父母との続 き 柄 (右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	養父 養母	続 き 柄 養 子	養父 養母	続 き 柄 養 女		
(3) 離 婚 の 種 別	<input type="checkbox"/> 協議離婚	<input type="checkbox"/> 和解	年 月 日 成 立	<input type="checkbox"/> 請求の認諾	年 月 日 認 諾	
(4)	<input type="checkbox"/> 調停	年 月 日 成 立	<input type="checkbox"/> 審判	年 月 日 確 定	<input type="checkbox"/> 判決	年 月 日 確 定
婚姻前の氏に もどる者の本籍	<input type="checkbox"/> 夫 は <input type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる <input type="checkbox"/> 妻 は <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる	番 地 番	筆 頭 者 の 氏 名			
(5) 未 成 年 の 子 の 氏 名	夫が親権 を行う子	妻が親権 を行う子				
(6) 同 居 の 期 間	年 月 日 から	年 月 日 まで				
(7)	(同居を始めたとき)	(別居したとき)				
(8) 別 居 す る 前 の 住 所	番 地 番 号					
(9) 別 居 す る 前 の 世 帯 の お も な 仕 事 と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)					
(10) 夫 妻 の 職 業	夫の職業	妻の職業				
そ の 他						
届 出 人 署 名 (※押印は任意)	夫	妻	印	印		
事 件 簿 番 号	住 定 年 月 日	夫	年 月 日	妻	年 月 日	

令和 年 月 日 午前・午後 時 分 受 領	<input type="checkbox"/> 宛 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 <input type="checkbox"/> 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
	<input type="checkbox"/> 宛 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 <input type="checkbox"/> 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
	<input type="checkbox"/> 宛 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 <input type="checkbox"/> 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
使 者	<input type="checkbox"/> 宛 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住 <input type="checkbox"/> 不 受 理 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ( ) 通 知
通 知	年 月 日
確 認	通 知

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。  
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。  
届書は、1通でさしつかえありません。  
この届書を本籍地でない市区町村役場に提出するときは、戸籍謄本1通もあわせて提出してください。  
そのほかに必要なもの 調停離婚のとき→調停調書の謄本  
審判離婚のとき→審判書の謄本と確定証明書  
和解離婚のとき→和解調書の謄本  
認諾離婚のとき→認諾調書の謄本  
判決離婚のとき→判決書の謄本と確定証明書


証 人 (協議離婚のときだけ必要です)		
署 名 (※押印は任意)	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所		
本 籍	番 地 番	番 地 番

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。  
今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください（この場合にはこの離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります）。  
同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてください。  
届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。



父母が離婚するときは、面会交流や養育費の分担など子の監護に必要な事項についても父母の協議で定めることとされています。この場合には、子の利益を最も優先して考えなければならないこととされています。

・未成年の子がいる場合は、次の□のあてはまるものにしるしをつけてください。  
面会交流について取決めをしている。  
まだ決めていない。  
面会交流：未成年の子と離れて暮らしている親が子と定期的、継続的に、会って話をしたり、一緒に遊んだり、電話や手紙などの方法で交流すること。

・経済的に自立していない子(未成年の子に限られません)がいる場合は、次の□のあてはまるものにしるしをつけてください。  
養育費の分担について取決めをしている。  
取決め方法：(□公正証書 □それ以外)  
まだ決めていない。  
養育費：経済的に自立していない子（例えば、アルバイト等による収入があっても該当する場合があります）の衣食住に必要な経費、教育費、医療費など。

このチェック欄についての法務省の解説動画 

詳しくは、各市区町村の窓口において配布している「子どもの養育に関する合意書作成の手引きとQ&A」をご覧ください。  
面会交流や養育費のほか、財産分与、年金分割等、離婚をするときに考えておくべきことをまとめた情報を法務省ホームページ内にも掲載しています。

 法務省作成のパンフレット 

日本司法支援センター(法テラス)では、面会交流の取決めや養育費の分担など離婚をめぐる問題について、相談窓口等の情報を無料で提供しています。無料法律相談や弁護士費用等の立替えをご利用いただける場合もありますので、お問い合わせください。  
【法テラス・サポートダイヤル】0570-078374 【公式ホームページ】<https://www.houterasu.or.jp>

◎ 署名は必ず本人が自署して下さい

連絡先	番
電話( )	
自宅・勤務先・呼出	方